

TOSHIBA

オートアラーム検知器 (体温検知式) ASR-855

取扱説明書

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。



警告

- 電源を切った状態で施工してください。
(活線工事は感電、故障の原因になります。)
- 端子への接続は確実に行ってください。
(発熱の原因になります。)
- 製品の分解はしないでください。
(故障の原因になります。)

使用上のご注意とお願い

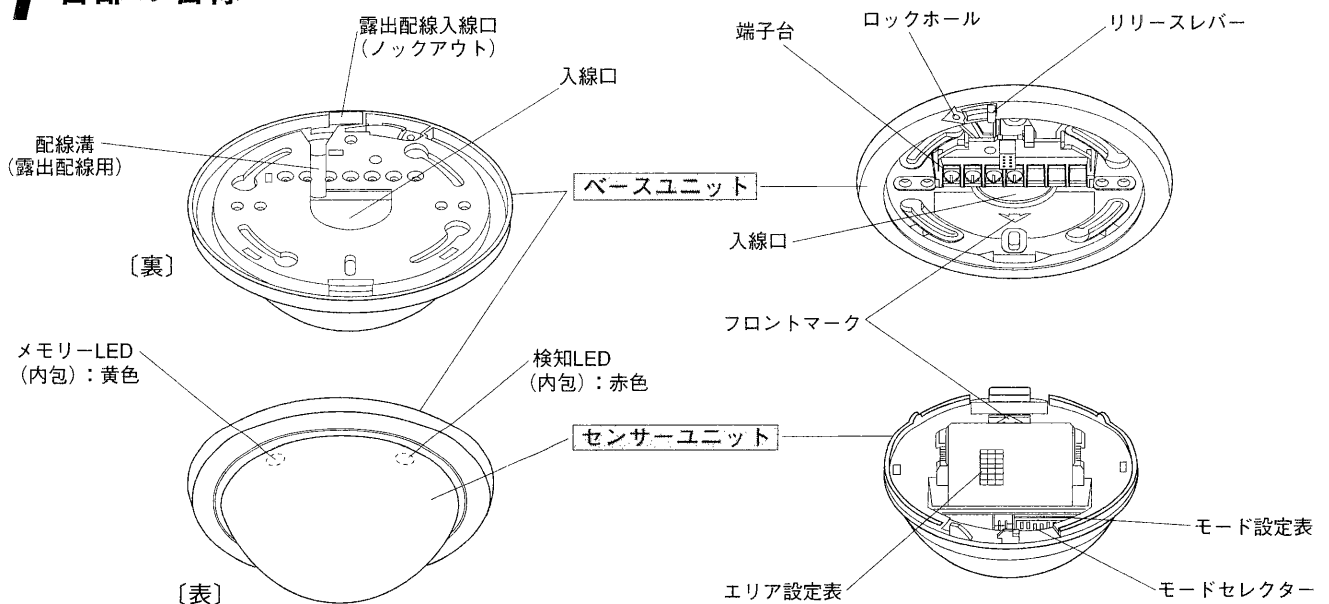
本商品は盗難防止器・災害防止器ではありません。万一発生した盗難事故・人身事故・災害事故及び機器のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変(誘導雷サージ含む)などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

商品説明

本商品は人体から放射される遠赤外線エネルギーを検知し、リレー接点信号を出力する体温検知式の検知器です。

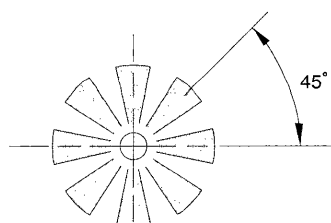
オートアラーム受信機(AM-8)との組合せにてご使用ください。

1 各部の名称

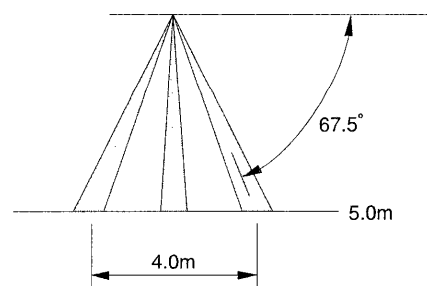


2 検知エリア

(平面図)



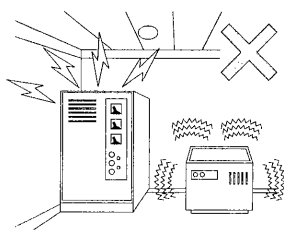
(側面図)



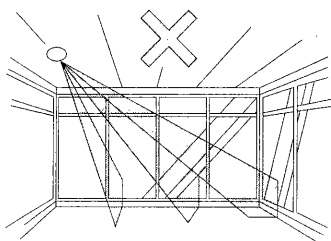
※最大取り付け高さ 5 m時

3 設置上の注意

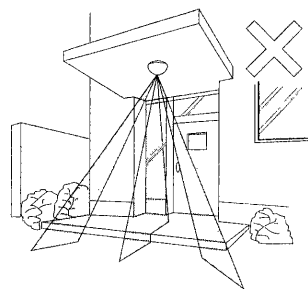
次の例を参考にして設置場所を選定してください。



●強い振動や電気雑音が発生しやすい場所は避けてください。



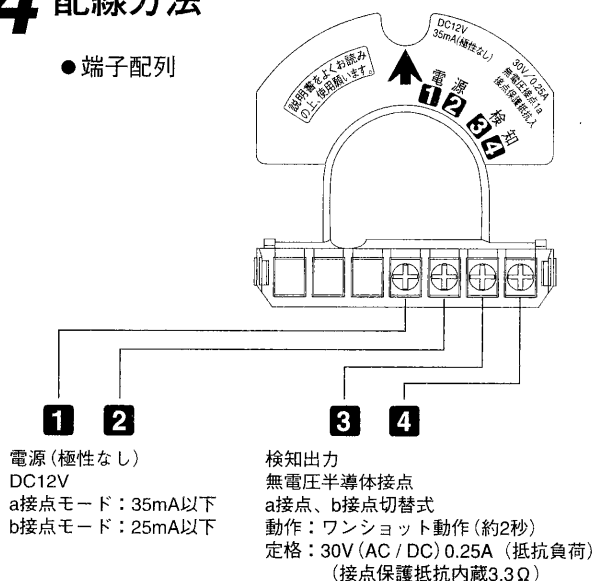
●強い光(日光、スポットライト)が直接または反射して検知器や検知エリアに当たる場所は避けてください。



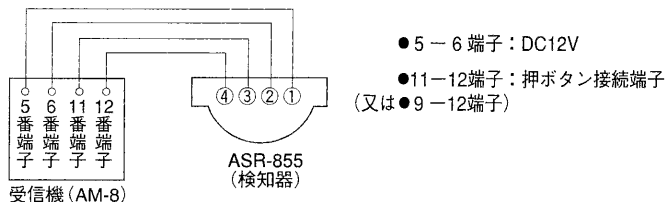
●屋内専用型ですので屋外には設置しないでください。

4 配線方法

●端子配列



●結線例 (来客用押ボタン接続端子に検知器を接続します。)



〔ご注意〕* 来客用押ボタン接続端子に検知器を接続していますので「動作待機モード」、「警報モード」では動作しません。
* ch1 (9-10端子)、ch2 (10-11端子) にASR-855の(3-4端子)を接続しないでください。故障の原因となります。
* ASR-855を2台以上接続する場合は、(5-6端子)を使用できません。別途、直流電源(DC12V)をご用意ください。

●配線可能距離 (検知器～受信機)

電線サイズ	配線可能距離 (DC12V供給時)
0.3mm ² (φ 0.65mm)	250mまで
0.5mm ² (φ 0.8mm)	450mまで
0.8mm ² (φ 1.0mm)	700mまで

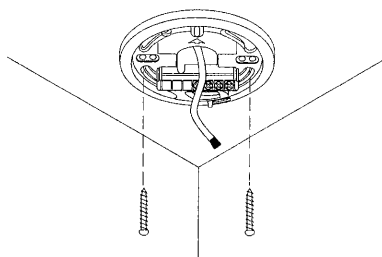
※電源を投入してから約1分間はウォームアップのため検知LEDが点滅します。1分を経過しますと検知LEDが消灯し検知体制にはいります。

5 取付手順

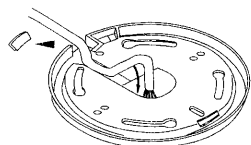
1. リリースレバーを矢印の向きにスライドさせて、ベースユニットからセンサーユニットを取りはずしてください。

リリースレバー

2. 検知LEDを確認する方向にフロントマークを合わせてベースユニットを付属ネジで取り付けてください。



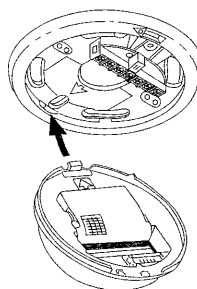
※露出配線をする場合はノックアウトを破り、ベースユニットの配線溝に電線を収めて入線してください。



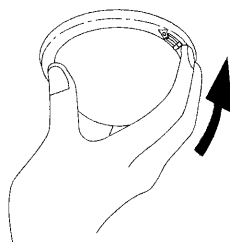
3. 電線を端子に接続してください。 (“配線方法”の項参照)

4. ベースユニットとセンサーユニットのフロントマークを合わせてください。

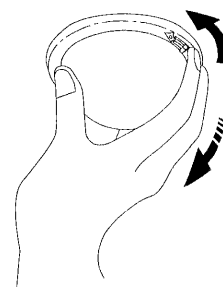
- ① センサーユニットをフロントマークのある側からベースユニットに差し込みます。



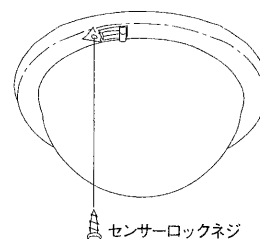
- ② リリースレバーが「パチン」と音がするまで押し込んでください。



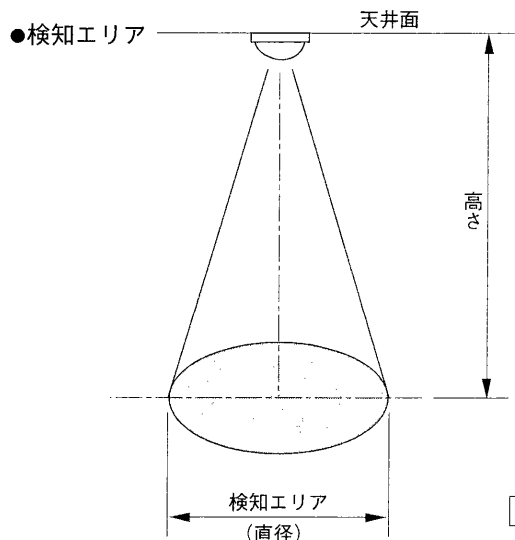
5. センサーユニットを取りはずす時は、手のひらで包むようにして持ち、指先でリリースレバーをスライドさせて取りはずしてください。



6. センサーユニットをはずせないようにする場合は、センサーロックを締め付けてください。



6 検知エリアの設定



天井高さ	検知エリア (直径)
2m	1.6
2.5m	2.0
3m	2.4
4m	3.2
5m	4.0

単位：m

水平方向 ベース取付穴で調整してください。(25° 調整可能)

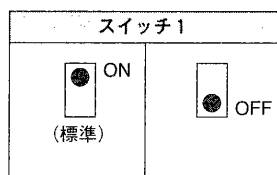
7 モード設定

ON	ON	1a	120	80	1回	3回
OFF	OFF	1b	100	60	2回	4回
1検知LED	2メモリー	3検知	4,5 感度 (%)	6,7 カウント		

センサーユニット裏面のモードセクター(ディップスイッチ)により、各種の機能設定ができます。

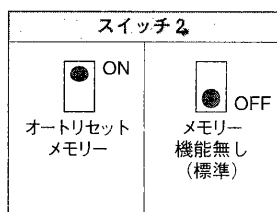
1. 検知LEDの ON / OFF

ON : 検知時点灯
(電源投入後約1分点滅)
OFF : 常時消灯



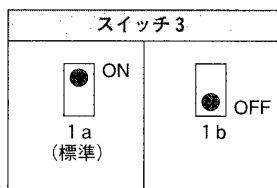
2. アラームメモリーの ON / OFF

ON : 検知器が検知するとメモリーLEDが3分間点滅、47分間点灯を続けます。(点灯中に再び検知するとタイマーがリセットされて新たに47分間点灯を続けます。)
OFF : メモリーOFF

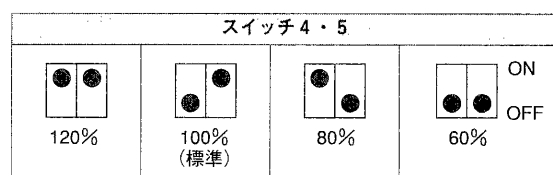


3. 検知接点の切替

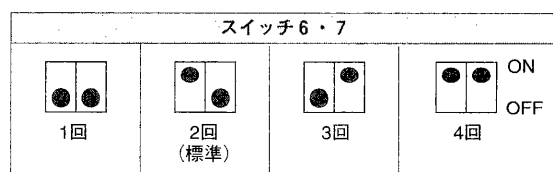
ON : a接点 (N/O)
OFF : b接点 (N/C)



4. 感度設定

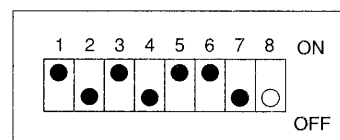


5. カウント設定



【1回】人体の少ない動きをシャープに検知したい場合に設定してください。
【2回】通常はこの位置に設定してください。
【3回・4回】温度変化がよく発生する場合に設定してください。

出荷時の設定



※スイッチ8は必ずOFF設定のままご使用ください。

8 動作確認

- 電源を投入し、約1分間検知LED(赤色)の点滅が終わるのを待ってください。
- 検知エリアを歩行し、検知信号が出力されるかどうか確認してください。
出力の確認は検知器側(LED)と受信制御部側の両方で行ってください。
- 動作確認が終了しましたら、必要に応じてセンサーユニット裏面のモードセクターで検知LEDを消灯状態に設定してください。(消灯状態に設定しますと検知されても、検知LEDは点灯しません。)

9 点検方法 (正常な動作をしない場合)

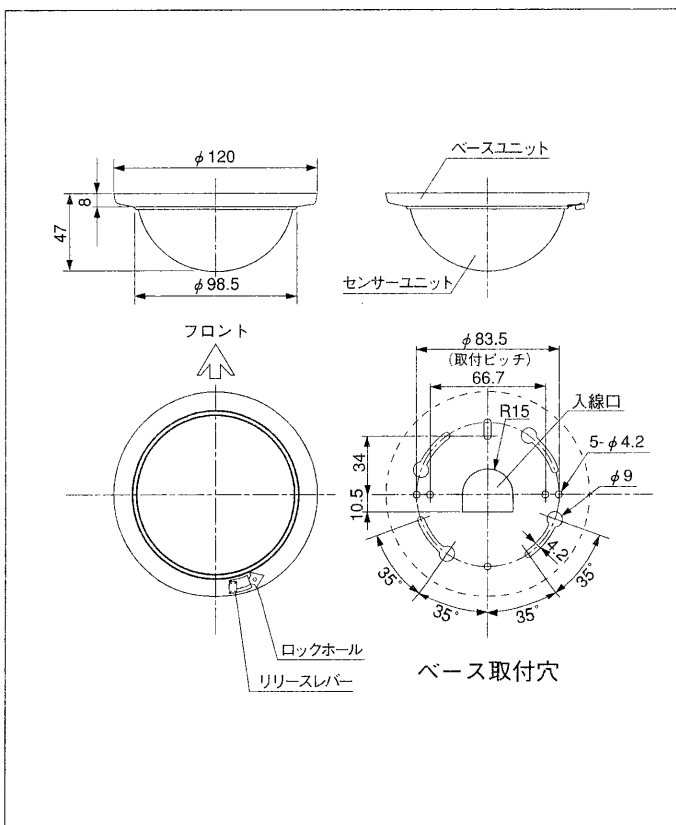
次の図に従って点検してください。点検した結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社まで申し出ください。

異常現象	点 検	処 置
全く動作しない	電源が入っていない(断線も含む) 電源電圧が低すぎませんか	電源線をチェックして電源電圧を適正にする
	電源を入れて約1分間経過しましたか(検知LEDが点滅していませんか)	約1分間待つ
	検知エリア前面に遮光物体がありませんか(ガラスも遮光物体となります)	遮光物体を取り除く
	検知エリアの設定は適切ですか	検知エリアを再設定する
時々動作しない	検知エリアの設定は適切ですか	検知エリアを再設定する
	カバー表面がほこりや水滴で汚れていませんか	柔らかい乾いた布でふきとる(シンナー・ベンジンなどの化学薬品は機器を傷める恐れがありますので使用しないでください)
	検知しようとしている距離は適切ですか	検知距離を定格以内にする
人が通らないのに動作する	電源電圧が不安定になっていませんか	電源電圧を適正にする
	検知エリア内でなにか動くものがあったり、急激な温度変化が起こっていませんか	原因となるものを取り除く
	電氣的雑音(放送局・アマチュア無線局など)の発生源が近くにありますか	取付場所を変更する
	太陽光の強い反射、ヘッドライトなどの光が当たっていませんか	取付場所を変更する、ブラインドなどで遮光する
	検知エリア外を通過している人を検知していませんか	検知エリアを再設定する
検知LEDは点灯するが接続機器が動作しない	検知信号の接続不良および配線が断線または短絡していませんか	接続不良および断線・短絡をなおす
	検知の接点出力が出ていますか	テスターなどで検知出力端子部を調べる
	接続されている機器は正常ですか	接続機器を調べる

10仕様

品 名	オートアラーム検知器 (体温検知式)
形 名	ASR-855
検 出 方 式	パッシブインフラレッド方式
検 知 エ リ ア	スポット検知 $\phi 4m$ (最大) 9対
電 源 電 圧	DC12V (極性なし)
消 費 電 流	a 接点モード: 35mA以下 b 接点モード: 25mA以下
検 知 出 力	無電圧半導体接点 (a 接点・b 接点切替式) 接点動作: ワンショット (約2秒) 接点容量: 30V (AC/DC) 0.25A以下 (抵抗負荷) (接点保護抵抗内蔵3.3 Ω)
検知メモリー機能	メモリーLEDが3分点滅、47分点灯するオートリセット動作 (モードセクターでON/OFF可)
検 知 L E D	赤色LED ウォームアップ時: 点滅 検 知 時: 点灯 (モードセクターでON/OFF可)
メモリーLED	黄色LED: メモリー起動時: 点滅 メモリー表示時: 点灯
カウント切替機能	1・2・3・4回切替式
エリア角度調整範囲	水平25° (ベース取付穴にて)
使用可能周囲温度	-15℃～+55℃ (結露無き事)
設 置 場 所	屋内天井面
配 線 接 続	M3 セルフアープ端子式
質 量	110g
外 観	本体: ABS樹脂 カバー: PE樹脂
付 属 品	タッピングネジ: $\phi 4 \times 30$ 2本 センサーロックネジ: $\phi 3 \times 6$ 1本

11 外形寸法図 (単位: mm)



日常点検

- 検知器がほこりなどで汚れた場合は、少量の石鹸液をつけた柔らかい布で、軽くふいてください。シンナーやベンジンなどは絶対に使用しないでください。
- 週1回程度は定期的に動作確認をしてください。また、設置した部屋の模様替えを行って机や衝立などを移動した時にも必ず行ってください。

※ ASR-855は人体の移動によって生じる〔遠〕赤外線エネルギーの変化をキャッチするよう設計されています。従って、検知エリアの環境が何らかの要因で同様の变化をおこした場合は、判別できずに検知信号を出力する場合がありますのでご了承ください。

工事店様へ ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

修理・サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買い上げの販売店(工事店)、東芝お客様センターへご相談ください。

東芝ライテック株式会社 電材照明社 (お客様相談室 0120-66-1048)

〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13 (南品川JNビル)